

【高齢者の生きがい】

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

1 毎日を生きる

(1) 毎日の生活

毎日の生活に、何かを感じながら、生きていることの意義、皆が平等に過ごせる時間を、いかに楽しむ事ができるかで、その人の人生が形成されて行くと思います。

生きる強さとは何だろうか、何が強さの評価なのか、どういう内容で、どう感じる事なのか、時間の流れをどう感じるのか、生きる強さをどう持って生活を行うか、いろんなことを考えると頭の中が混乱してしまいそうであり、真剣に考えなくても生きていけるのだから、適当に毎日を過ごして行くことよいのではないかと思われる人が多いと思います。

簡単な生き方も大切ですが、人間として生まれてきたのですから、何かを掴みとった人生も楽しいではないかと思えます。そのためには動くしかないと思えますし、生きていく中で、人や社会が悪いということで恨み、人から迷惑をかけられるということで悩む人生が、楽しくないことは誰でもが理解することですから、前に向かった生きかたをどう判断し、捉えるかが大切です。

現実には何となく悩み、思い込んでしまうことも多いようですが、その時に何も考えないと落とし穴に落ちてしまうことがあります、そのようなことがないように対処することが必要です。その一つの方法は、複雑に考えることを止め、一つ一つ整理して、どう内容を考え、どう明確にするか、その持っている意味を理解することに注意する必要があります。

生きるためは何を基に進んで行くのか、そのために何を考え、何を信じて生活するのか、どう協調していくことがベターなのかを求め、その中に生きていくことの基本を考え、足元から見つめ、一つ一つ階段を上がるように作業をすることが大切であり、その大切さを理解し、そのことについて省略をしないことに日常心がけることが大切です。

現状では、生きるという内容を考えることは難しい状況でもありますし、将来のことが見えているようで見えていないのも事実です。今生きている時間・明日の時間の保障がどうされているのか、社会において保障されているのか、自分の周りに理解されているのかも、判らないのが事実です。

私たちの考え方は、戦後の教育、その時代の流れに影響を受けて、いかにも民主主義の社会で自由に生活を行っているように理解しているのではないのでしょうか、もう少し生きてきた事実関係を理解し、前に向かって生活することを検証する必要があります。そうしないと不安を持たないようにし、毎日を楽し

く生きていくことが難しいことです。

個人としては、楽しいと感じながら生活をするのが一番ですので、前に向かって進んでいくという時間とどのように向き合っていくかが必要な時代でもあります。